

市長の選挙公約である  
足利再生プランの評価は！



横山 育男 議員

**問** 市長就任後2年が経過したが、同プランのこれまでの取り組みについてどのように分析し、評価しているのか。

**市長** 私はこのプランを実現するために「市民力」や「職員力」が大切だと考え、できる限り現場に足を運んで市民の話に耳を傾け、職員とは直接対話をするところから始めた。全ての公約が実施できているわけではないが、できることからおおむね順調に実現できており、少しずつであるがまちが元気になってきたのではないかと感じている。

◆映像のまち構想

**問** 同構想の本来の目的である映像産業の集積化や雇用機会の拡大などは、まだまだ市民の理解が十分ではないように感じる。さらにPRする必要があると思うがどうか。

**市長** 今年度は実質的に同構想の2年目となるが、さらなる市民の理解を深めるため、8月11日に足利銀幕会議を開催し、映像関係者等から大変貴重な意見を伺った。これらの情報を広報あしかがみやホームページ等で市内外へ積極的にPRするとともに、9月21日に開催する映像のまちフォーラムでは、パネルとして参加し、私の思いを描く映像のまち構想を改めて示したい。



▲9月21日に開催された映像のまちフォーラムの様子

子供を取り巻く環境の  
整備を！



金子 裕美 議員

**問** 近年、子供の問題行動や児童虐待などへの対応において、教育と福祉の連携の重要性が高まっている。現在、県の安足教育事務所にスクールソーシャルワーカーが設置されているが、市でも常勤として設置できないか。

**教育長** 安足教育事務所から随時対応できるとの話をいただいていることから、現在のところ常設ということではなく、同事務所と連携し対応していきたい。

◆クラウドソーシング

**問** インターネットを通じて仕事を受注・発注できるクラウドソーシングは、空き時間を利用して、若者や子育て中の方が活躍できる働き方であるが、地方創生先行型の事業として始まる実証事業の内容はどのようなものか。

**産業観光部長** 今年度はセミナーの開催や相談窓口を設置するほか、実際の受注作業体験を通じた技術指導を行う。本事業は、時間と場所を選ばずに仕事の受発注に対応できることから「しごとづくり」として有効と考えられるので、市の活性化に結びつけられるよう取り組んでいきたい。



▲クラウドソーシング活用講座のオリエンテーションのチラシ

個人番号（マイナンバー）  
制度は延期・中止を！



尾関 栄子 議員

**問** 同制度は大量の個人情報蓄積し、医療・年金・福祉・介護・労働保険・災害補償などあらゆる分野で活用される。個人情報が芋づる式に引き出され、プライバシーが侵害される危険性が高まるのではないか。

**市長** 同制度においては個人情報一元管理するのではなく、従来通り、国税に関する情報は税務署に、住民票や手当の給付に関する情報は市役所というように、分散して管理される。さらに、通信の際には個人情報漏えい防止のさまざまな措置が講じられており、本市としても、制度の導入に当たっては個人情報保護に最大限の配慮をし、進めていきたい。

◆環境問題

**問** 栃木県廃棄物処理計画（平成23年3月発表）で本市は焼却施設の延命化を検討したが、平成26年12月議会で南部クリーンセンターを建てかえるとした理由は何か。

**生活環境部長** 当時から、新炉建設や大規模改修などの話があったが、大規模改修するには焼却炉を約6カ月間とめる必要がある。ごみの焼却処分の委託にかかる経費を考慮し、長期的にみて有利な新炉建設を平成26年12月に決断したということである。



▲南部クリーンセンター

南部グリーンセンターと道の駅のかかわりについて



中島由美子 議員

同センターの新焼却施設建設において、地元説明会では地域振興の観点から期待の大きい道の駅について触れられなかったが、地元にとってこの両施設は別物ではない。この二つの関係をどのように考えているのか。

生活環境部長 新焼却施設建設の地元説明会の中で、道の駅を含めたいくつかの施設名が挙げられている。地元としての要望等を踏まえ、今後の事業説明にあわせて協議させていただき、有益な地域振興策となるよう進めていきたい。

◆児童虐待の現状と対策

里親制度は、児童虐待等の事情で保護される子供たちを、温かい愛情と正しい理解を持った家庭環境のもとで養育する制度である。同制度の啓発はどのように行っているのか。

福祉部長 本年度、事業主体である県と連携し、足利市民福祉大会においてパンフレットの配布やパネルの展示などのPR活動を行う予定である。今後も機会を捉えて里親制度に対する市民の理解を促進させていきたい。



▲里親制度啓発のチラシ

山辺西部土地区画整理事業の早期完了へ!



吉田晴信 議員

第一地区は平成26年度に野州山辺駅前広場が整備され、地元では完了への期待が高まっているが、第二地区では事業計画の見直しに着手すると聞いている。同事業の進捗状況と今後の見通しについて聞きたい。

都市建設部長 第一地区は平成26年度末の進捗状況が約81%で、引き続き家屋移転及び道路等公共施設整備を行い、おおむね今後4年で完了したいと考えている。また、第二地区は進捗状況が約15%で、今年度に事業計画の見直しを行い、既存の道路を活用して家屋移転を減らすことにより、事業費の削減と事業期間の短縮を図り、一層の推進に努めていく。

◆プレミアム付きあしか商品券発行事業

本市では国の交付金を活用し、市内の消費喚起を目的とするプレミアム率20%の商品券を総額9億円分発行した。今後の消費の押し上げ効果をどの程度見込んでいるのか。

産業観光部長 9億円という多額の金額が期間限定で市内消費されることは大きな効果があると認識している。県が実施した調査によると本市の地元購買率は約80%、市外での消費が約20%の状況にある。さらに、この市外消費が今回の商品券によって市内での消費につながっていることも効果の一つであると捉えている。



▲発行されたプレミアム付きあしか商品券(見本)

足利市議会改革推進協議会を設置しました!

行政改革・地方分権を踏まえた本市議会の改革に関する総合的な事項を協議、推進するため、第23期に引き続き、議長の諮問機関である「足利市議会改革推進協議会」を設置しました。(議長を除く全議員で構成)

- 会長 柳 収一郎
- 副会長 平塚 茂
- 理事 斎藤 昌之
- 萩原 久雄

また、同協議会に次の2つの専門部会を設置しました。

ICT部会

タブレット端末の導入や本会議のインターネット中継などICT(情報通信技術)に関する検討項目を協議する専門部会。

- 部会長 萩原 久雄
- 副会長 富永 悦子
- 須田 瑞穂
- 渡辺 悟
- 西田 智男

議会運営部会

一般質問のあり方など議会運営に関する検討項目を協議する専門部会。

- 部会長 横山 育男
- 副会長 大島 綾
- 金子 裕美
- 大須賀幸雄
- 藤生 智弘